## 10月28日掲載 毎日新聞(神戸版)



# 5000 一つつ他を上記をつ

ハビリなから他の

七日十年間の報告第75 でハウタ (銀の雑形) **からのこのできまった** 子との行うの国家政治 の人の第一川野市! そのは他のな機能など マインキャイ公表 いて公を奉される C DESCRIPTION 万は、東京の前

ンチャイムの練習に励む COMMO (NAM 大田田子の リーウ いは大田の町大田田子 演奏するのは、シン 深い着を表った情報だ

者が手に作って機を数 英英を出した。 機能者トーンチャイルは、東 くず力になりたい」と「と話す。 を金属的に行だ。 口作権を図の山機節子 CON-SECTION CONTROL NATIO 

交通を被害者の会に同一ろことにためるいもあったで、気持ちを外に「区間通数指すの区間な 
(マカルはならに)」と、上版で、
対した時代

(マカルはならに)」と、上版で、
対した時代

(マスカー)」は、
(マスカーシーンは、

(マスカーシーンは、
(マスカーシーンは、

(アスカーシーンは、
(マスカーシーン・

(アスカーシーンは、
(マスカーシーン・

(アスカーシーンは、
(マスカーシーン・

(アスカーシーンは、
(マスカーシーン・

(アスカーシーン・
(マスカーシーン・

(アスカーシーン・
(マスカーシーン・

(アスカーシーン・
(マスカーシーン・

(アスカーシーン・
(マスカーシーン・

(アスカーシーン・
(アスカーシーン・

(アスカーシーン・
(アスカーシーン・

(アスカーシーン・
(アスカーシーン・

(アスカーシーン・
(アスカーシーン・

(アスカーシーン・
(アスカーシーン・

(アスカーシーン・
(アスカーシーン・

(アスカーン・
(アスカーン・

(アスカーン・
 と一緒に演奏するこ 早から、大阪日間開発 AN ALL AND ANY

こんごびは日本に発展 日常の場の場を得らり CHARGE DAPE

一切の日の田町 かん

SERVING SERVING

10月31日掲載 産経新聞

黄色い風車

力所に供えたい

国際神機機関(WHO)が開始する 利用月代の 「世界道路交通機能者 の日」に、大阪の企道機能機能を 、大阪の企道機能を開始される。 業を包える機能を拒めている。 福祉 他を付けたともに、デライバーの 物生形に江道機能するのが弱いた。

大選の表記を研で、単数単位の合金化 者、他を使わる人のかが単位はし なか、ある人物が与れて他とした のを続け事件なが最近な問題が 単述をおいなか、重要のは「私た をからないなか、重要のは「私た などのない」と呼びかせている。

遺族ら来月大阪でシンボ

D-II TELEBRISH

ACMINISTR ACA

NB6000×74-548 だっ の日、の数・アイティンは、の間がないこれとの、日前 見しなって」 におなみ 建物の一人が展開。位置者「はほの「種類者のは」に相「表に取り組むの間を大・子を開発したのアイデアは「タウム会議に伝えた事人」「か、多年者に使しい家の問題を開発した。

プトログナの中ノンの対象 6年前に発展の繊維5人

P. (Mp://hr ad. 0-8#0 #-9##ETB# 門的様子の

川年子のは自己のの、諸原・後のがあるので、「養物の る。 建設のがハンドベルに会」(文献的のは)。 子成 一種ののベラーのの側は建 の区域 センターで開かれ 理事を得めているのは、いてものつとを目標にし になって」を推荐するは - 教学もの名類で記録が

**高田村の大田野いも立て** 

11月12日掲載 読売新聞

### 会厅 /Se<sup>M</sup> 2008年(平成20年)11月12日(水曜日) 常

くる 参加無料。

市阿僧野区民センターで開 適死ゼロをめざして」を大阪 時半から、シンポジウム 「交

死被害者の会」は15日午後一 つくる自助団体「TAV交通

交通事故犠牲者の家族らで

大阪でシンボ

車社会考える 事故死ゼロ

(6・compon・5つい) わせはTAV事務局の米村 らが意見交換する。問い合 通安全活動に取り組む遺族 ればいいのかを考える。 すためには車社会がどう変わ 置し、今年は16日)を前に、 機能者の日」: (11月第3日 |軽者を追悼し、被害をなく 追悼セレモニーのほか、交 国連が定めた「世界道路な

# 11月12日掲載 朝日新聞

会 (大阪市北区)が20世代 くる「TAV交通死被害者の などを通して「交通死ゼロ」 遺医与の体験験やパネル街輪 交通事故の被害者連携でつ

交通死撲滅へ

遺族らシンポ

15日、大阪で初開催

信号」の促進などについて、 者の事故を助ぐ「歩率分離式 イプーの普及や横断中の歩行 会を速度である「ソフトドラ 香の日人が参加。狭い道を安 パネル耐難には、連携や研究

> · ) (create - 1 - todated - . わせは事務局の米村さん(16

れ、濃素の人が体験を務る。 家族収入の遺影が終し出さ の道様式では、同会会員らの

内閣府などとの共働。犠牲者 者の日」に合わせた行事で、 て大阪市内で購く。 を終えるシンボジウムを初め 国連の「世界道路交通犠牲

たい」と関している。 意見を交わす。同念事務局の 阿條野助・十一日)で、入場領 優野区の区域センター(阿区 取り組んで犠牲者をゼロにし は遺襲だけの問題ではない。 料、季點通訳もある。問い命 われる前に、みんなで対策に 家族を亡くし、私しみに見 米村晩鶴さん(品)は「交通死 郷しは午後・時半から 岡

## 11月12日掲載 毎日新聞(大阪市内版)



会成め、他人だ首の主義がなる。「種口店大」

の一種「トーンチャイム」を一般被領の和で約 海、今年は1月日に白わせての選集を重飲らか めて、推薦する、域数たちは「死害をけ」への顕 25日/大阪円内で伸くシンボシウムでが楽器 「世界重称交通機技術の片」にはの略では

は、裏質なかに持って表 を行うとうとでする CONTRAIN DOME の間から、下人との対別を 画者するのは、シンヤを

> 製田と タイプはなだい。

ざだしり人、請用

報りであずられて、ハンマ の東平原であること 雑な物 キンインに担保を 整備のひというなっても使 担心機関 かかっつで最高 一な金属器に切たって寄せ と関係を含むしいた。 **おたは、単利7条第一回** 

で自然を持ついる。

他、我に行きにもでい

は声気を変に撃

MUNICIPAL ATTORNEY

がころう 対策なるをに対 ただ「井田七」 朝と地帯で いしている。 **100年11日日 日本に手合け** 第300回動学(人)が

15元者を口に向けての指 関すの国際ないターで、特 で、シボは中 中かか (S. Gradistricks) O-4043978,69 ルディスカアションは知識 り組みを考える関係やバス 67 大湖市位置基式设设额 大の情報が開ないをしてい 通信のおおり 単の種類を記 行動機・日本では影撃から は国際が世界共通のロシー 物の日本の物質してお年に

### 11月15日掲載 日経新聞

# 6



2500 tol 4000 2000 1000 1000 1000

みは過えない。つのい経一学一年だった異女、事も 明なもくなった難し」なげたい。 有数の単にはなられた。 でんぱつからの機能中に 和田市の西浦書祭さん「よりまる、原因には一下 H) SERVERO ない

何を得っていました」、「カーにはねられた、長の 日は様を抱きかかえて、カーも十六年前にかなる さんは「子供なれば香味」とした。たれしたタンプ は選手んだとして、香味 時じ まる居団事務とこ 死んだつ、あかん! とことだった裁判で調査です 地上発展中だった振ち上き などがあるという。 V (S) - 808C/2

号の特別など重都を持つすための発電を超えて 直してはならない! ・交通事故で内臓を失った 連収へが左行者と軍の適行を分けた参取分離信 いる、飲酒運転や重要なのき適けも使を頼たな 博物のを残ったのに命を進たすを動を繰り

だる平八百九十七カ州 を明ひ掛けている。 の何の情報開発をは一人

くシンボッカーを声を一つにする。

競を集政の再発助したつ (の) (1997) を交通点 | 手根分離大は四千五件に | 国の非政府組織(SCOO) | らがハンドベルに仰た 事後でしてした大配府年「十八カ帝で約1・1 だに」が開場したことから政府 | 特上の問題 | 情報開発 | 団連が毎年十一月の第三 | を演者 | 事故で確存した A 1501 - 東京都内です。 では「子子などのの場合と、東京が足いを建めた。 はない 150 - 1 (1)00公里 班優別 者の前 ななが存むしな そ り様々、シンボルの手の ひのサイオの風車と、日 昨年から、飼料 日曜日を世界秋一の日人 1445 1004年2世 で 子の墓2なって」 の担しは一九の日前に第 いなる事を表現します。

「ナーンチャイム」を開

シンボのタムでは連奏

った現金メンバーの実施 との発は十五日中産

との機能観光者の会 (大) (1000の発売には多り者 が前将 水路の上をまた DESIGNATION OF THE PERSON NAMED IN 会け、事務助王の振り相 っていた単行者が、なぜ 関連の言えや暗ました

ばれ「光神ゼロ」の実現| 明な印上家の非なに使み | を考えたほしいことがす 配出具に)の代表にも通り確認の問号の環想など有し端のために何ができるな **製り、多行者用の信号機 阿伯野区の阿伯野区見で 転じるる情報者は後を絶** かにかかわりたい。大学「皇を成とさなければなり」男性会な異な句(2のき 運動のでつくる (すん)クタム) にパミッストと (きらされているのが水 格を通信性者のロンシボーで、手行者は常に位信し ひをめさして…… 吉安道 本の交通事情は申中 2人日 20巻ナー寺 して参加する。「新華な一体、一人ひとりが事故理 シターで得て「交通発化」のない 二人は十五日、大幅の「か発生するなり最適な連 ずられがにするひさ時け きつけたい とはず 力には大阪・棚田で D) Settle

者の口」の十八日を育じ、大麻育で十五日に除 い、道路の信用機が定めた「世界道路で通牒化 専用機も繋げられた。 つよつに、通知機の安全 製作したらての

10年を記りの機能なる 情報をからない きょう大阪でシンポ

## 11月16日掲載 朝日新聞

第「ビジョンゼロ」を紹介し 惟を話し合った。 (干種脱弥 故を訪ぐ「歩車分離式信号 開発や、横断中の歩行者の事 走れない車「ソフトカー」の た。パネル耐燥では、大学敷 どスウェーデンが取り組む政 で交通死捕獲に取り組む重要 の普及活動を説明。社会全体 **殺や追集が制限速度を避えて** 細かい制限速度を設定するな

都市の小鬼科医、今井博之さ

し、事故で長男を亡くした京

一定めたのにちなんだ初の個

世界道路交通犠牲者の日 関連が11月の第3日曜日を つう」と訴えた。

ん(51)が講演し、道路ごとに

## 11月16日掲載 産経新聞

車社会のあり方について考 シンポは世界保健機関

阿倍野で遺族らシンポ

民センターで初めて行われ 15日、大阪市阿倍野区の区 ロをめざすシンボラウムが た。出席した約250人が 家族らが、交通事故死のゼ 交通事故で内親を失った

捕獲別代表) が実施した。 ▼交通死被害者の会□ (西 第3日曜の「世界道路交通 犠牲者の日」を前に「TA (WHO)が提唱する[1月 き合いに「安全性を犠牲に り相交ピションゼロを引 した今井博えざん(5)が基 した移動はありえないとい 精錬質。スウェーデンの収 퍈

10歳の長男を事故で亡く「うのが本来の姿とあえた。」とについて議論した。 入や、制限速度を守るため に車と運転者に施す対策な せる「歩車分離信号」の導 車と歩行者に分けて適行さ 事故防止のために交差点を 表者や大学教授らが出席。 全に取り組む市民団体の代 パネル討論では、交通安 11月16日掲載 読売新聞(大阪版)

# ■交通犯罪の根絶を誓う

国連が定めた「世界道路交通 **犠牲者の日」(16日) にちなん** だシンポジウム「交通死ゼロを めざして」が15日、大阪市内で 開かれた。遺族らでつくる「T A V 交通死被害者の会」が初め て主催。約250人が参加し、パ ネル討論などを通じて交通犯罪 の根絶を誓い合った。

冒頭、犠牲者の追悼式典も営 まれ、2002年、大型トレーラー による事故に巻き込まれ、家族 3人を亡くした阪口玲香さん (33)(愛知県弥寓市)が遺族を 代表してあいさつ。 「残された 家族も、生きる希望を失ってし まう。悲しみが繰り返されない 社会を願っている」と訴えた。

剛

# 遺族らシンポ 交通死ゼロ

みを繰り返さない社会をつく 60人が集まった。遺族は シンボジウム「交通死ゼロを 族は生きる希望を失う。悲し 野区で開かれ、金国から約2 めざして」が15日、同市阿鈴 つくる「TAV交通死被害者 犠牲者は未来を奪われ、寒 |会| (大阪市北区)主催の 交通事故の被害者遺族らで

11月17日掲載 毎日新聞

2008年(平成20年)11月17日(月)



交通死ゼロ社会」 佐願い 海察する人たち

の第四日曜日)に合わ せて、交通事故遺跡ら 透明な者の日 でつくる デトシ交通 一世界道路交 事故はゼロにできる」 システムの改善で死亡 手のモラル肉上帯交通 Q人が整治し、「運転

Н

死ゼロ社会」の実現を 同市同価額区で「交通 目指すシンボジウムを | だ事故で、 長男智繁君 が挽舞の別に突っ込ん 運動の大型トレーラー 02年に通労・顕服り

市政)を対目 死被害者の会」(大阪

上級支た。

るトーンチャイムの順 奏などもあった。 向けた機両、適携によ **歩車分離信号の替及に** た ジフトカー」や

被害者の会 遺族がシンポで訴え 初めて開いた。約080

紤

人を亡くした愛知察院 塞市の阪口和書さん 超越しないよう制御さ 心情を述べた。速度を (国)が遺跡を代表して (別様で成) の実践の

网倍野